

1. 履修について

学生便覧 P.7 の「カリキュラムのあらまし」にある教養教育系科目と国際性涵養教育科目（必要な部分のみ）と専門教育系科目（1 年時に関わる部分）についてお知らせします。履修登録、単位取得状況は個人の責任のもとに管理を行ってください。履修登録期限などはたえず KOAN などで確認をして、分からないことは教務課に質問をしに行ってください。

1.1 教養教育系科目と国際性涵養教育科目

教養教育系科目と国際性涵養教育科目の詳細については、教務課のオリエンテーションを参照してください。デンマーク・スウェーデン語研究室からは以下の 2 点のみお願いがあります。

- 基盤教養教育科目の中の「欧米の文化と社会を知る B（春夏学期）」を必ず受講してください。この授業は「北欧事情」についての講義です。抽選に漏れた方は再抽選に応募してください。それでも無理な場合は秋冬学期に同じ授業が開講されますので、そちらを受講してください。
- 国際性涵養教育科目の中の特別外国語演習デンマーク語（大辺担当）は、デンマーク語専攻の学生はもちろん、スウェーデン語専攻の学生も受講しないでください。同様に、特別外国語演習スウェーデン語（當野担当）は、スウェーデン語専攻の学生はもちろん、デンマーク語専攻の学生も受講しないでください。3-4 年時にデンマーク語学生向けスウェーデン語およびスウェーデン語学生向けデンマーク語の授業が開講されています。

1.2 専門科目

- 専門教育系科目で 1 年時に関わるのは、デンマーク語 1-5 とスウェーデン語 1-5 です。これらの科目は 1 つでも落とすと留年となるので注意が必要です。
- 専攻語の授業はどの科目も原則 8 割以上の出席を単位取得の最低条件とします。通年科目ならば、学年を通して 7 回（半期科目は 4 回）以上欠席すると自動的に単位取得は不可能になります。欠席の連絡は必ずしてください（事前が最善ですが、事後は速やかに連絡すること）。病気、忌引き、その他、特別な事情の場合はその旨を知らせ、必要であれば個々に相談して下さい。また遅刻は 20 分までを遅刻扱い、それ以上の遅刻は欠席扱いとなります。クラブやサークルの活動による欠席が公休扱いとなることはありません。
- 各授業の成績はその授業の担当教員によって個々に評価が与えられます。履修している授業の試験などの結果は個人で責任を持って管理に当たること。教員が他の教員の成績に対して、干渉、仲介はしません。デンマーク語、スウェーデン語ともに、2 と 3（文法）および 4 と 5（会話）は同一の教員が一貫した授業を行うので、同じ成績が点けられます。
- 留学の応募にあたって教員からの推薦状が必要な場合がありますが、1・2 年生の専攻語実習のいずれかの授業で一度でも C 以下の成績をとった人に対しては、原則的に教員は推薦状を書くことができませんので注意してください。

2. 連絡などについて

- 欠席連絡、その他の連絡は各教員の大学メールアドレスへ送ってください。その際、メールの件名には必ず学年と名前を記すこと。件名が空白の場合、不審メールとして削除される可能性があります。
- 教員や大学から KOAN に登録されているメールアドレス宛に連絡をとることがあります。個人のメールアドレスを変更した場合には必ず変更手続きをしてください。また、学生に与えられる阪大のメールアドレス（u から始まる数字 6 桁 & アルファベット）に連絡を送信する場合があります。こちらのメールアドレスも頻繁にチェックすること。